

年齢階級別労働力率 - 女性のM字カーブの底は浅くなるも東京・大阪よりは深い



平成27年における本市の労働力率^(注)は62.5%で、22年を2.1ポイント、30年前の昭和60年を2.5ポイント下回りました。

年齢5歳階級別にみると、男性の労働力率は60年と比較すると60～64歳を除く全ての年齢階級で低下しています。

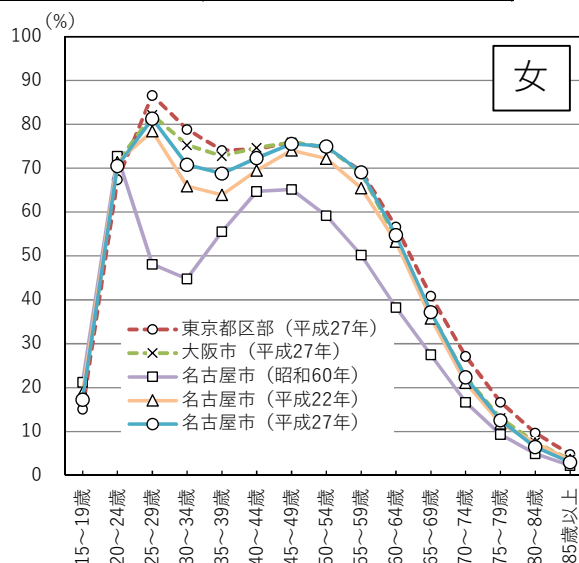
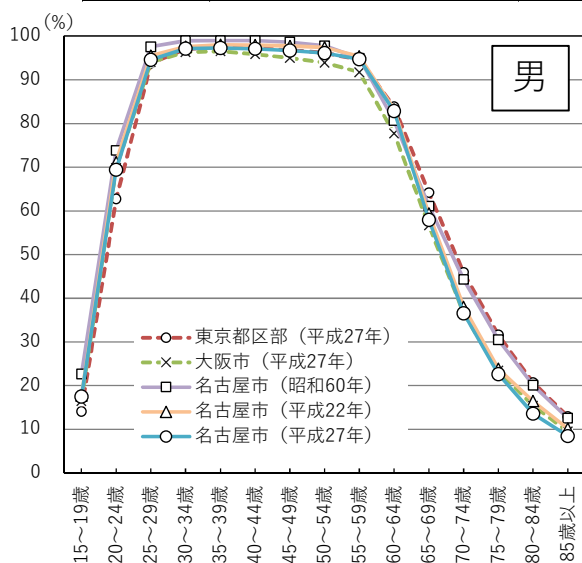
一方、女性の労働力率は出産・育児等を背景に、30歳前後及び50歳前後の2つの山を持ついわゆるM字カーブを描いています。M字カーブの最初の山は昭和60年では20～24歳でしたが、平成27年では25～29歳となっています。M字カーブの底は昭和60年では30～34歳でしたが、平成27年では35～39歳となり、底は浅くなっています。昭和60年と比較すると25歳以上のすべての年齢階級で上昇しています。

平成27年の男性の労働力率について東京都区部と比較すると、24歳までは本市の方が高くなっていますが、60歳以降は低くなっています。大阪市と比較すると、69歳までは本市の方が概ね高くなっています。女性の労働力率については、24歳までは東京都区部よりも高くなっていますが、25～44歳においては東京都区部、大阪市を大きく下回っています。また、東京都区部に対しては60歳以降でも大きく下回っています。

本市の年齢5歳階級別労働力率の推移

(単位：%)

年齢階級	総数			男			女		
	昭和	平成		昭和	平成		昭和	平成	
	60年	22年	27年	60年	22年	27年	60年	22年	27年
総数	65.0	64.6	62.5	82.0	77.4	73.7	48.2	52.4	51.9
15～19歳	22.0	18.3	17.3	22.7	17.8	17.5	21.2	18.9	17.2
20～24歳	73.3	71.3	70.0	73.8	71.1	69.4	72.8	71.4	70.5
25～29歳	73.7	87.1	88.0	97.5	95.5	94.6	48.1	78.4	81.3
30～34歳	72.6	81.9	84.1	98.9	97.6	97.2	44.8	65.9	70.8
35～39歳	77.7	81.2	83.2	99.0	98.0	97.3	55.6	63.9	68.8
40～44歳	82.0	84.0	84.9	99.0	97.9	97.1	64.7	69.4	72.3
45～49歳	81.9	86.1	86.3	98.6	97.8	96.7	65.2	74.1	75.6
50～54歳	78.5	85.0	85.6	97.8	97.4	96.1	59.2	72.2	75.0
55～59歳	72.3	80.6	82.0	94.9	95.4	94.7	50.2	65.5	69.1
60～64歳	56.8	68.2	68.7	80.6	83.2	82.8	38.3	53.3	54.7
65～69歳	41.8	47.2	47.3	61.1	59.4	57.9	27.5	35.8	37.2
70～74歳	28.7	28.9	29.0	44.3	38.1	36.6	16.7	21.1	22.3
75～79歳	18.2	17.0	17.0	30.5	23.9	22.6	9.3	11.9	12.5
80～84歳	10.9	10.9	9.3	20.1	16.5	13.6	4.9	7.3	6.5
85歳以上	5.7	5.3	4.6	12.6	10.2	8.5	2.2	3.5	3.0



(注) 15歳以上人口に占める労働力人口（就業者と完全失業者の合計）の割合。労働力状態の不詳を除く。

資料：総務省統計局「国勢調査」